

24th 聞き書き甲子園

【参加資格】高校生 【募集人数】93人 【応募〆切】2025年6月23日(月)必着

※選考結果は7月末までに郵送で通知します。

【参加条件】事前研修に参加できること。取材を行うことができること。(※)

また、聞き書き作品を期日までに提出すること。 ※公共交通機関を利用した長距離の移動、グループワークや講義への参加、団体での宿泊に問題がないこと。これらに特別な配慮が必要な方は、応募の前にお問い合わせください。

【参加費用】無料

【応募方法】ウェブサイトからご応募ください。もしくは、参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局まで郵送ください。

【お申し込み・お問い合わせ先】〒156-0043 東京都世田谷区松原1-11-26 コスモヴィジュアル松原301
聞き書き甲子園実行委員会事務局（NPO法人共存の森ネットワーク内）
TEL:03-6432-6580/E-mail:contact@kikigaki.net

聞き書き甲子園
ウェブサイトはこちら。
<https://www.kikigaki.net>

フリガナ			
氏 名		生年 月 日	西暦 年 月 日 生(歳)
		性別	男 女
住 所	〒(—) 本人携帯番号(—)		
E - m a i l	※普段から使用している本人のEmailをご記入ください。		

フリガナ 高 校 名			年 組
高校所在地	〒 (—) 電話番号 (— —)		
フリガナ 担 当 教 員	参加者との関係 ☐ 担任 ☐ 部活顧問 ☐ その他 _____		

※緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をしていただく場合があります。

交通手段	自宅→
	→ 東京駅または羽田空港

※自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)をすべてご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月16～19日の研修参加チケットを手配します。

保護者氏名	 ※「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。 また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。		
住 所	〒 (—)	ご自宅電話番号 (— —)	
		携帯電話番号 (— —)	
		E-mail ()	

※住所は参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。※保護者のE-mail欄に、高校生本人のE-mailは記載できません。※自宅電話をお持ちでない方は「なし」とご記入ください。

自己 P R あなたの長所や経歴、 特技、将来の夢などを 書いてください。	
--	--

90. 「국립국립」이라고 하면, '국립'과 '국립'이 같은 말인 것 같지만, '국립'과 '국립'은 다른 말입니다.

BOOKS



聞き書き作品集

高校生の聞き書き作品は、年度ごとに冊子にまとめています。購入を希望される場合はHPからお申し込みください。

「聞き書き甲子園」に参加した4人の高校生と名人のコミュニケーション映画です。上映希望者には、有料で貸し出いたします。

映画「森聞き」



MOVIE

02. 「聞き書き」って何？

というコミュニケーションです。高校生は、名人と一対二人の対話は録音し、一字一句、書き起こします。コを生かしながら整理し、名人の一人語りの文体にまは、名人の言葉を何度も繰り返して、反響します。

「か言いたいこと（伝えたいこと）になった」
地域のことは、高校生にとっては、はじめは「他人ごと」
で、名人への共感や敬意とともに「自分ごと」に変わ
る人は、本当の祖父母と孫のような深い縁を育みます。

聞き書き甲子園は、2002年(平成14年)に始まり、参加者の累計は、2000人を超えました。これまでに参加した高校生は、全国の仲間たちや名人との出会

Q3. 聞き書き甲子園に参加すると、どんな変化があるの？



01. 臺灣由來多事多端

日本は、面積の約7割を森林が占め、周囲を海に囲まれています。そして地域ごとに異なる気候や風土、文化、暮らしがあります。

聞き書き甲子園は、全国から選ばれた高校生が、日本各地の森・川・湖の名人を訪ね、一対一で「聞き書き」するプロジェクトです。

高校生は、名人が働く仕事場を訪ね、先人から受け継いできた仕事や生き方について学びます。名人との対話は録音し、すべて書き起こして作品に仕上げます。その過程で高校生は単に知識だけではなく、名人の生き残る姿勢に学び、自身の将来や道路について考えるようになります。

名人が大切にしてきた、自然とともに生きる知恵や技術、そして心。そこには、これからの持続可能な社会をつくるヒントがあるかもしれません。



What is KIKIGAKI?

24じゅう聞き書き甲子園



森・川・海の名人に会い、ニッポンの歴史と伝統、自然を未来に!!



KIKIGAKI

KIKIGAKI

【主催】関西きき甲子園実行委員会（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、NPO 法人共存の森ネットワーク、NPO 法人地球緑化センター）【協賛協力・企業賛助】株式会社ファミリーマート【協賛・協力】公益財団法人ベネッセ文教教育振興会、富士フィルムホールディングス株式会社、京王電鉄株式会社、株式会社ティコム、公益財団法人SOMPO環境財団、株式会社ベネッセコーポレーション【後援】総務省、全国知事会、全国市長会、全国町会、全国山村振興連盟、一般社団法人全国過疎地城連盟、NPO 法人「日本で最も美しい村」連合

■ FamilyMart

ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じて、この活動を応援しています。



KIKIGAKI

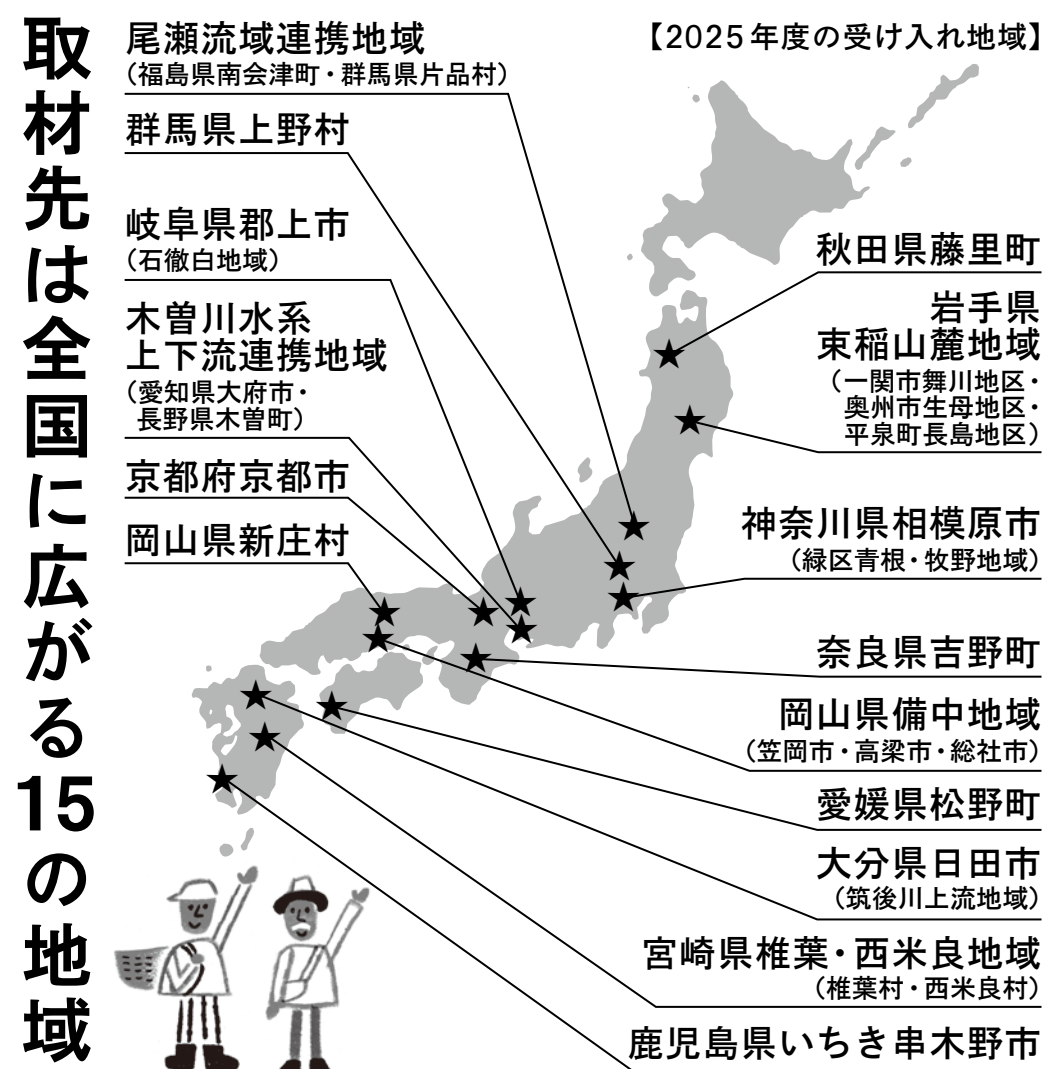


発行者：聞き書き甲子園実行委員会

聞き書き壁新聞 2025

<https://www.kikigaki.net>

発行日：2025年5月



24th 聞き書き甲子園

森・川・海の名人に会い、暮らしを知り、
第24回聞き書き甲子園では、全国から参加する高校生が森・川・海の名人の仕事場を訪ね、その知恵や技、人生を1対1で聞き書きします。今年参加する高校生が取材するのは、全国15の地域で暮らす名人たち。その仕事は、樵、造林手、木工職人、大工、漁師など、さまざまです。自然と関わる仕事をしながら、私たちの知恵や技術を受け継いできた名人たちの言葉には、未来を考えるためのヒントが詰まっています。聞き書き甲子園に参加して、知らなかった世界に一步ふみ出してみませんか？

聞き書き甲子園の1年

6月23日まで
応募する

参加者に
選ばれた！

8月16・19日
研修
都内・宿泊あり

9月
取材をする①
名人に
アポを取る

10月
取材をする②

12月
作品にまとめる

3月下旬
フォーラム
(成果発表会)

冊子に
なる

名人のところに
また訪ねていきたいな。

私は、うなぎの塚の魚の視点を、魚一匹を獲ることの苦労と実態を知りました。名人は「自然を私たちが整え、少しの恵みを頂く」という、印象深い考えを教えてください。塚作業をしながら語る名人さんの姿は大きくかつこよく見えました。(福岡県Kさん)



聞き書き抜粋

木造船に想いを乗せて

【名人】番匠 光昭 (富山県氷見市)

【聞き手】小林 華音 (東京都大妻中野高等学校2年)

頑固な親父と俺

俺は中学生の時から親父のもとで仕事してたもんで、親父には「船大工に学問はいらん、高校に行くな」って言われた。(中略)でも俺が一人前の船大工になったのは、親父に厳しくしてもらったからなのかなと思うから、感謝してるよ。

波乱万丈な人生

俺は木造船とFRP(繊維強化プラスチック)の船の両方をつくってきた。(中略)10年間、FRPの船ばかりつくってたんだけど、木造船も船大工もだんだんいなくなってくるのが寂しいなあとと思うようになった。そんな時、氷見市立博物館の学芸員が、木造船を復元してくれんか、木造船集めせんか、という話をもちかけてくれた。それで活動してるうちに、船大工も悪くないなと思えるようになったんよな。(中略)大変なことがいっぱいあったけど、逆に苦労してきたから今に繋がってるんやと思うんよな。

参加者の声

募集内容 ●参加資格 高校生 ●募集人数 93人 ●参加条件 事前研修に参加すること。取材を行うことができること。(※)また、聞き書き作品を期日までに提出すること。※公共交通機関を利用した長距離の移動、グループワークや講義への参加、団体での宿泊に問題がないこと。これらに特別な配慮が必要な方は、応募の前にお問い合わせください。●参加費 無料(事前研修、取材、成果発表会にかかる旅費は主催者が負担します) ●応募方法 参加申込書と応募動機を書いた作文(400字程度)を事務局までお送りください。



そがなペースで編んでいく

【名人】多久間 博子 (岡山県真庭市)

【聞き手】安住 愛華音 (鳥取県立鳥取西高等学校2年)

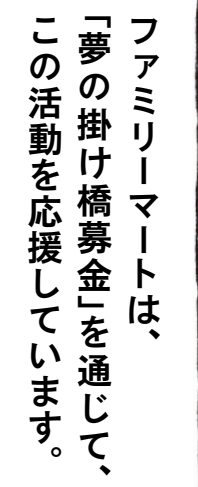
がま細工にであうまで

(中略) 近所の人が冬仕事で、がま細工しとられたんよ。先輩が一緒習いにいこう言うて、そこに遊びに行きよった。そうしたら、ああできるかもわからんなあ思うて、冬の間習ったんよな。

ファミリマートは、
「夢の掛け橋募金」を通じて、
この活動を応援しています。

ファミリマートは、2006年から「ファミリマート夢の掛け橋募金」として店頭募金を実施し、NGO/NPOと連携して、子どもたちと地球の未来のために活動しています。国内のファミリマート店舗で行われているこの募金は、株式会社ファミリマートからの企業寄付と合わせて、様々な団体に寄付されています。その一部は、公益社団法人国土緑化推進機構への寄付を通じて、「聞き書き甲子園」の活動を支援しています。

あなたと、コンビニに、
FamilyMart



編むときは干したときの硬さよりちよつと柔いほうがええけえ、熱い湯で締める。紐で縛って一晩置いといて、明るる日それを使つて編むんだ。(中略) 1人で1つの作品を仕上げるんです。はじめから終いまで。大体1つ作るのに詰めてしても3日かかるわ。

続けてこれた理由

私は昭和の15年生まれだけえ。「無理だけえ辞める」なんてことできんけえな。若い人とは違うて、そがな時代を生きてきたから続けてこられたと思うよ。

であえてよかった

子どもの時はなあ、将来の夢なんて考えて無かつたなあ。戦後っていうのもあつたかも。がま細工してなかつたら私縫い物しよと思う。(中略) 私にとって、がま細工は仕事でもあつて趣味でもあるんよ。近くでやつつたおかげで私も習えた。(中略) 今はがまであえたことが一番幸せですね。もうただただ、がまを教えてもらった先輩と今いる会員のみんなに感謝しています。(第23回聞き書き作品集より抜粋)